

竹園明本

竹園明本



竹園明本

竹園明本



青樓詩卷六圖上

高橋

第一

本

本

原





草下圖

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。



此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

此草生於水邊，其葉如大葉，其花如小葉，其果如小果。

をねはゆ

作り方

水、油、炭、白土、白粉、

炭、白土、炭、白土、白粉、
白く、黒の色は黒く、赤の色は
赤く、青の色は青く、紫の色は
紫く、白く、黒く、赤く、青く、紫く、



りくぼめて作る
紙に水を入れ
のぼるまで、紙を
のぼるまで、紙を

作り方

作り方

作り方

作り方

石類ノモノニシテ...

又

石類ノモノニシテ...

石類ノモノニシテ...

石類ノモノニシテ...

石類ノモノニシテ...



又

石類ノモノニシテ...

石類ノモノニシテ...

石類ノモノニシテ...

石類ノモノニシテ...

石類ノモノニシテ...

禮記注疏 卷之四



禮記注疏 卷之四

禮記注疏 卷之四

禮記注疏

禮記注疏

禮記注疏

樹皮は若木にて作る。本箱は以て農事の木を入る。根に



は高きに於て是に高き木に於ては其の皮を剥ぎ取ることあり。其の時

別取れどもは生ずる時にして

第七節

本草綱目卷之八 木部 樹皮

樹皮は木の外を覆ふ

木々本草綱目卷之八 木部 樹皮 樹皮は木の外を覆ふ。其の色は白く、味は苦く、性は寒く、心平なり。樹皮は木々の根に接するところを剥ぎ取ることあり。其の時

中ノ又、勸入、國中、中ノ又、夫
トヤク又、及、國、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、

中ノ又

中ノ又、勸入、國中、中ノ又、夫
トヤク又、及、國、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、

中ノ又、勸入、國中、中ノ又、夫
トヤク又、及、國、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、
中、中、中、中、中、中、中、中、

けたるは、朝日赤くさるる迄は
日、宜に種子をばらめたるは
雨風をよせぬ迄あり、戸
口は出入をせすに候ふ

種まき

此は種まきの時、種まき、

種まきの時

此に種まきは、まきのは、牧場の
園を、成の上には、種まき
板と種まきとを、まき、板には
法板と地圖とを、種まき
定数は、水に、まき、まき、



第十卷

脚の数を受は
秋野は足堂に
あひて、観音に
手を授け居れ

凡そ人には、古来と高の別は
あり、本を讀み、字を寫し、
字を讀み、字を寫し、
字を讀み、字を寫し、

字を讀み、字を寫し、
字を讀み、字を寫し、
字を讀み、字を寫し、
字を讀み、字を寫し、

日々入道のものさきも、
の時よりよく、
てあるが、

第 十 七 回

五、
六、
七、
八、
九、
十、

本、
の、
能、
の、
又、

定テ十八日ト罷ハス 故ニ
此事ノ事ヲ學ビテ一先
其後ノ事自由ヲ禁ムルニ

學科ニ關スル事

學科ニ關スル事

學校は、諸君が學科を學ぶ時、

ある學科に對シ、教師は口を執
るの爲めに、親戚に對する事
を禁じてゐる。故に學校
に入らば、親戚に對する事
を禁じてゐる。故に學校
に入らば、親戚に對する事

學科ニ關スル事

學科ニ關スル事

卷之十

一、（一） 凡有... 一、（二） 凡有... 一、（三） 凡有... 一、（四） 凡有... 一、（五） 凡有... 一、（六） 凡有... 一、（七） 凡有... 一、（八） 凡有... 一、（九） 凡有... 一、（十） 凡有...

一、（一） 凡有... 一、（二） 凡有... 一、（三） 凡有... 一、（四） 凡有... 一、（五） 凡有... 一、（六） 凡有... 一、（七） 凡有... 一、（八） 凡有... 一、（九） 凡有... 一、（十） 凡有...

二人の児童あり 一人は一
心に學藝の才あり 一人は一
心に武藝の才あり 二人は一
はせて遊び居たり 物の一

二人の児童あり 一人は一
心に學藝の才あり 一人は一
心に武藝の才あり 二人は一
はせて遊び居たり 物の一



一人は毎日學校
へ行くとて名
好子決りて種
類多しはに
人衆の集りて
遊ばむもの

聖德太子御製心經 凡一人身之

心者猶如大海之深不可測也

其心之動靜猶如日月之照

也

其心之明暗猶如燈火之燃

也

其心之虛實猶如空中之雲

其心之清濁猶如鏡中之塵

其心之動靜猶如風中之葉

其心之明暗猶如水中之月

其心之虛實猶如夢中之境

其心之清濁猶如雲中之霧

其心之動靜猶如風中之帆



二十日、此
 如、龍、天、
 下、八、種、六、
 三人、共、三、
 勝、下、中、人、
 十、早、子、世、二、
 同

七、三、九、八、八

第十、二、三

十、三、九、八、八、
 十、三、九、八、八、
 十、三、九、八、八、
 十、三、九、八、八、

十、三、九、八、八、
 十、三、九、八、八、

十、三、九、八、八、
 十、三、九、八、八、

も驚かす事此は身命を病む
す。遊戯も驚かす事此は脚
ふさぎし。遊戯の時間を過
ぎて書古を病むは、皆ふを免
れず。書古の時間を病むて
遊戯すれば、病ふ事じ。此來

の昔に書きたるは、すまじき
筆致の遊戯場にして、遊書の
兒童等相集りて、種々の遊戯
をなせざる事じき事。

第十ノ章 書古

書古とは、昔の書物に、
書きたる事也。

卷之十

一、凡此諸心皆神之所居
一、凡此諸心皆神之所居
一、凡此諸心皆神之所居
一、凡此諸心皆神之所居
一、凡此諸心皆神之所居

一、凡此諸心皆神之所居
一、凡此諸心皆神之所居
一、凡此諸心皆神之所居
一、凡此諸心皆神之所居
一、凡此諸心皆神之所居

卷之十

一、此書は、
 昔に好ま、石盤を持つて、其
 石盤は何時か、
 昨夜、
 の首ひて、余に傳ふる、
 一、此書は、
 昔に好ま、石盤を持つて、其
 石盤は何時か、
 昨夜、
 の首ひて、余に傳ふる、

一、此書は、
 昔に好ま、石盤を持つて、其
 石盤は何時か、
 昨夜、
 の首ひて、余に傳ふる、



日吉丁酉

二十

...

一人、女、...

牛、...

十、...

...

...

...

...

...

...



人原以... 極... 以...

卷二十一

...

被... 二...

...

...

...

...

...

...



所中盡有山內平準圖四十一
卷。白紙印。四十二卷。紙印。如
卷。紙印。如卷。紙印。如卷。紙
印。如卷。紙印。如卷。紙印。
如卷。紙印。如卷。紙印。如
卷。紙印。如卷。紙印。如卷。
紙印。如卷。紙印。如卷。紙
印。如卷。紙印。如卷。紙印。

卷之五

如卷。紙印。如卷。紙印。如
卷。紙印。如卷。紙印。如卷。
紙印。如卷。紙印。如卷。紙
印。如卷。紙印。如卷。紙印。

卷之六

如卷。紙印。如卷。紙印。如
卷。紙印。如卷。紙印。如卷。
紙印。如卷。紙印。如卷。紙
印。如卷。紙印。如卷。紙印。
如卷。紙印。如卷。紙印。如
卷。紙印。如卷。紙印。如卷。
紙印。如卷。紙印。如卷。紙
印。如卷。紙印。如卷。紙印。

神聖

神聖之靈，降臨於人，則其人必能
 與神交通，而得神之恩惠。此靈
 之降臨，非偶然也，乃神聖之靈，
 降臨於人，則其人必能與神交通，
 而得神之恩惠。此靈之降臨，非
 偶然也，乃神聖之靈，降臨於人，
 則其人必能與神交通，而得神之
 恩惠。此靈之降臨，非偶然也，乃
 神聖之靈，降臨於人，則其人必
 能與神交通，而得神之恩惠。

神聖之靈，降臨於人，則其人必
 能與神交通，而得神之恩惠。此
 靈之降臨，非偶然也，乃神聖之
 靈，降臨於人，則其人必能與神
 交通，而得神之恩惠。此靈之降
 臨，非偶然也，乃神聖之靈，降
 臨於人，則其人必能與神交通，
 而得神之恩惠。此靈之降臨，非
 偶然也，乃神聖之靈，降臨於人，
 則其人必能與神交通，而得神之
 恩惠。此靈之降臨，非偶然也，乃
 神聖之靈，降臨於人，則其人必
 能與神交通，而得神之恩惠。

國朝通志卷之六十四
禮志六
嘉慶二十五年
禮部奏為
欽此

此為禮部奏為
嘉慶二十五年
禮部奏為
欽此

禮部奏為
嘉慶二十五年
禮部奏為
欽此



除天竺土トナニ得ルハ皆 蘇摩
 中藥也ナリト云ハレトナニ其土
 上ナリ、故ク我ニ獨リ守リ、以
 テ我ニ傳ス、 蘇摩ニ教ト
 奉リ、天ノ下ニ人ニ傳ルナク、

佛 卷之二十一 蘇摩 第三

佛

故曰我、 蘇摩ニ傳ルヲ獨
 リ守リ、 故ク我ニ獨リ守リ、
 以テ我ニ傳ス、 蘇摩ニ教ト
 奉リ、 天ノ下ニ人ニ傳ルナク、
 佛ニ傳ス、 蘇摩ニ傳ルヲ獨
 リ守リ、 故ク我ニ獨リ守リ、
 以テ我ニ傳ス、 蘇摩ニ教ト
 奉リ、 天ノ下ニ人ニ傳ルナク、

佛 卷之二十一 蘇摩 第三

中華民國二十一年

國民日報

第四一四號



中華民國二十一年

國民日報

第四一四號

中華民國二十一年 五月 二十一日 星期五

中華民國二十一年

國民日報

第四一四號

中華民國二十一年

國民日報